

清掃技能検定手順書 (六訂版)



令和5年4月～
広島県教育委員会

清掃技能検定<テーブル拭き>手順書【制限時間：7分00秒(標準時間：5分00秒)】






※制限時間：検定時間(制限時間を超えると試技の途中でも検定は終了となります)
 ※標準時間：効率のよい作業としての目安時間(標準時間を超えると「効率のよい作業」の評価対象となります)

【ポイント】

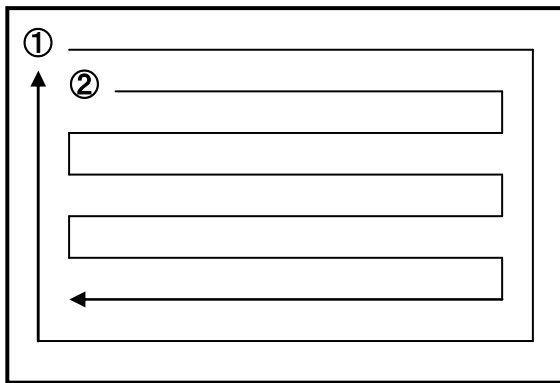
- 安全で、衛生的に、効率的な清掃作業をしましょう。
- テーブルをタオルできれいに拭きましょう。

作業項目	作業内容 □：評価対象 ・：評価対象外		留意事項等 ※：評価に関わる事項
<p>審査員に呼ばれて準備開始</p>	<p>□適切な服装等で清掃作業をする。</p> <p>※名札を胸付近に固定することができない服装等の場合は、試技を行うときに名札を着用しなくてもかまいません。名札を着用せず試技を行う場合は、入室前に試技会場前の待機椅子の上に名札を置きましょう。</p> <p>□効率のよい作業をする。(試技を、標準時間以内に終了できない場合、「行動等」の評価が×となる。)</p> <p>□試技中(作業中)は走らない。</p> <p>・審査員「☆☆◇◇さん、マットの上に立ってください。」</p> <p>□「はい。」と返事をし、移動する。</p> <p>・審査員「準備を始めてください。」</p> <p>【時間計測開始】</p> <p>□「はい。」と返事をし、準備を始める。</p>		<p>※適切な服装と身だしなみで作業をすることが大切です。ポイントは、「安全で、衛生的に作業をすること」、「周囲の人等に不快な印象を与えないこと」です。衣服のしわや靴の汚れにも注意しましょう。</p> <p>【不適切な服装等の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い髪をゴムで束ねていない。 ・ひげが伸びて清潔感がない。明らかな剃り残しがある。 ・爪が伸びている。(手の平側から指先を見たときに指から爪がはみ出ていると長い爪と判断します。) ・マニキュアをしている。 ・ブレスレット、指輪、ピアス等を身に付けている。(腕時計は付けてもかまいませんが、時計の水没や時計に付いた水滴が作業に影響を及ぼしたり、時計で物を傷つけたりしないようにする必要があります。) ・香水をつけていたり、派手な化粧をしたりしている。 ・第一ボタン以外のボタンを閉めていない。 ・上着のチャックをはずした状態で作業する。 ・シャツをズボンに入っていない。 ・半ズボンで作業する。 ・ベルト通しがあるズボンに、ベルトをしていない、ベルトを通してない箇所がある。又は、ベルトがねじれている。 ・靴紐がほどけている。 ・靴のかかとを踏んでいる。 ・サンダルを履いている。(安全でないため、「検定中止」となります。)
<p>資機材の準備をする</p>	<p>□必要な資機材を選択(黄タオル、白タオル、作業表示板)し、資機材置き場に置く。</p> <p>□タオルは広げて、資機材置き場に置く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・黄タオルは濡れ拭き用、白タオルは乾拭き用です。 ・バケツは、3分の1程度、水が入った状態で、資機材置き場付近の床に準備してあります。 ・バケツの水をこぼさないように注意しましょう。大量の水がこぼれ、滑る危険性があると審査員が判断した場合は、「検定中止」となります。少量の水がこぼれた場合は、こぼれた水を踏まないように作業を継続しましょう。 ※資機材は、引きずって移動しないようにしましょう。
<p>審査員に開始を報告する</p>	<p>□「準備ができました。」等と準備ができたことを報告する。</p> <p>・審査員「始めてください。」</p> <p>□所定の位置(マット)に立ち、姿勢を正し、聞こえる声の大きさと、「○○立□□特別支援学校の☆☆◇◇(氏名)です。始めます。」等と学校名と氏名を伝え、開始を報告する。</p>		<p>※準備完了の報告があつたが準備が完全ではない場合や、準備開始の指示から2分経過した場合、審査員から1回のみ「準備に足りないところがあります。」、「準備の仕方が分かりますか。」等と伝えられます。その後、正しく準備をやり直した場合、評価は○になりますが、準備をやり直したが、準備が不十分な場合や、準備の仕方が分からなくなった場合は、審査員が教えてくれます。その場合、「資機材準備」の評価は×となりますが、その後の検定は継続できます。</p> <p>・就職後は、自分の所属先や氏名を正確に他者に伝える必要があります。広島県立や広島市立、姓名まで正確に伝えられるようにしましょう。ただし、評価の対象ではありません。</p>

	<p>□ 試技コート(作業場所)入口付近に、表示が見えるよう作業表示板を置く。</p>		<p>※作業表示板は、歩行者から見える場所、歩行者、試技者の妨げにならない場所に置きましょう。</p>
<p>作業の準備をする</p>	<p>【タオルをたたむ】</p> <p>□ タオル(黄・白)を、8つ折にし、タオルの端をおおよそ、そろえてたたむ。</p>		
	<p>【タオルを絞る】</p> <p>□ バケツの水で、黄タオルをぬらす。</p> <p>□ 片膝を床に着けた姿勢で行う。</p> <p>□ 床にべたっとすねを着けないようにする。</p> <p>□ バットと同じ握り方で、腕を伸ばしながら内側に絞る。(完全に伸びていなくてもよい。)</p> <p>□ 黄タオルをしっかり絞る。(水滴が落ちない程度絞る。)</p> <p>□ 手に付いている水滴を黄タオルで拭く。</p> <p>□ タオルは、床に置かないようにする。</p>		
<p>入室する</p>	<p>・2枚のタオルを両手に持ち、入口で、「失礼します。」と言って一礼し、入室する。</p>		<p>※幅木や養生テープは、部屋の壁を表していません。入退室のときや作業中に、養生テープ等の上をまたいだり、資機材を通過させたりしないように意識しましょう。(養生テープ等の上をまたいだ(身体を通過させた)場合、「行動等」の評価が×となります。資機材は通過しても評価の対象とはなりません。)</p>
<p>濡れ拭き(ふち)をする</p>	<p>□ 右手で拭く場合は、黄タオルで左奥の角から拭く。左手で拭く場合は、その逆となる。</p> <p>□ 天板の側面を含めて、ふちを一周拭く。</p> <p>□ 力を入れて拭く。</p> <p>□ タオルのばらけている方を親指ではさんで拭く。</p> <p>□ 使っていないタオルは持ったまま拭く。</p>		<p>・拭く手順は、タオルを持つ手に関係なく、自分から遠い角からスタートしてれば、時計回り、反時計回りどちらでもよいです。</p> <p>※拭いている途中でタオルを床に落としてしまった場合、タオルを床に触れていない面に変えて拭きましょう。面を変えずに拭いた場合、評価は×となります。</p>

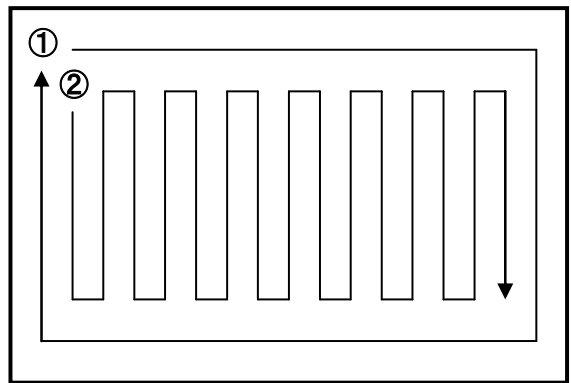
<p>濡れ拭き(中央)をする</p>	<p>□タオルの拭く面を変える。</p> <p>□自分から遠いところから、左右に「横・縦・横・縦」の順で、手前に向かって、拭き残しがないように拭く。</p> <p>□タオルのばらけている方を親指ではさんで拭く。</p> <p>□指を広げて拭く。</p> <p>□手の平をタオルに着けて拭く。</p> <p>□手をタオルの中心に置いて拭く。</p> <p>□拭き跡が少し重なるように、まっすぐ、力を入れて拭く。</p> <p>□同じ場所を2回以上拭かないようにする。</p> <p>□手を着いた場合は、拭き取る。</p>		<p>※往復運動やふちを拭くときに、同じ場所を2回以上拭いたり、2周以上拭いたりした場合、評価は×となります。無駄な作業となり、効率がよくないからです。テーブルの大きさにより、手前で拭き終わるために同じところを拭いてしまう場合等は、評価の対象外です。</p>
<p>乾拭きをする</p>	<p>□白タオルで左奥の角から、天板の側面を含めて、ふちを一周拭く。左手で拭く場合は、その逆となる。</p> <p>□タオルの拭く面を変える。</p> <p>□自分から遠いところから、上下に「縦・横・縦・横」の順で、右に向かって、拭き残しがないように拭く。左手で拭く場合は、左に向かって拭く。</p> <p>□拭き跡が少し重なるように、まっすぐ、力を入れて拭く。</p> <p>□同じ場所を2回以上拭かないようにする。</p> <p>□手を着いたところは拭き取る。</p>		<p>※白タオルも黄タオルの持ち方と同じように持ちましょう。</p>
<p>退室する</p>	<p>・2枚のタオルを持ち、出口で、室内に向かって、「失礼しました。」と言って一礼し、退室する。</p>		
<p>片付けをする</p>	<p>□資機材を資機材置き場にもどす。(タオルはたたんだままもどす。)</p>		<p>・タオルはたたんだまま、もどしましょう。広げて、もどしてもかまいません。</p>
<p>審査員に終了を報告する</p>	<p>□所定の場所(マット)に立ち、姿勢を正す。</p> <p>□聞こえる声で「終わりました。」等と報告する。</p> <p>【時間計測終了】</p>		

濡れ拭きの手順



※右手で拭く場合の参考手順
※左手で拭く場合は逆となる

乾拭きの手順





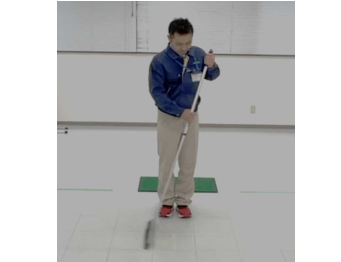
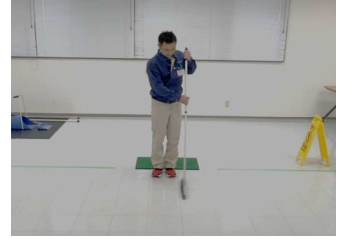
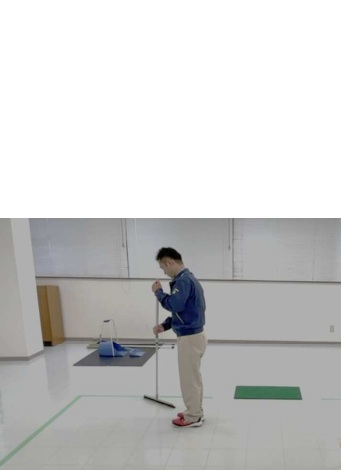

清掃技能検定＜自在ぼうき＞手順書【制限時間：10分00秒（標準時間：7分00秒）】







※制限時間：検定時間（制限時間を超えると試技の途中でも検定は終了となります）
 ※標準時間：効率のよい作業としての目安時間（標準時間を超えると「効率のよい作業」の評価対象となります）

【ポイント】

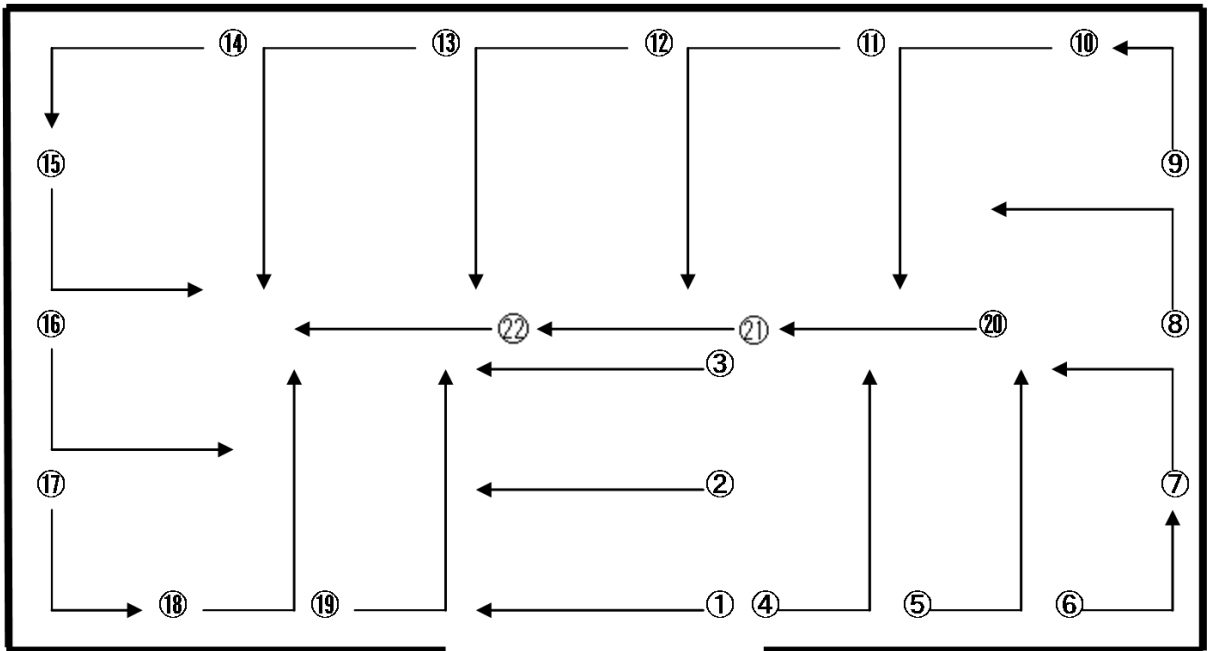
- 安全で、衛生的に、効率的な清掃作業をしましょう。
- 床を自在ぼうきと文化ちりとりできれいにしましょう。

作業項目	作業内容 □：評価対象 ・：評価対象外		留意事項等 ※：評価に関わる事項
<p>審査員に呼ばれて準備開始</p>	<p>□適切な服装等で清掃作業をする。</p> <p>※名札を胸付近に固定することができない服装等の場合は、試技を行うときに名札を着用しなくてもかまいません。名札を着用せず試技を行う場合は、入室前に試技会場前の待機椅子の上に名札を置きましょう。</p> <p>□効率のよい作業をする。（試技を、標準時間以内に終了できない場合、「行動等」の評価が×となる。）</p> <p>□試技中（作業中）は走らない。</p> <p>・審査員「☆☆◇◇さん、マットの上に立ってください。」</p> <p>□「はい。」と返事をし、移動する。</p> <p>・審査員「準備を始めてください。」</p> <p>【時間計測開始】</p> <p>□「はい。」と返事をし、準備を始める。</p>		<p>※適切な服装と身だしなみで作業をすることが大切です。ポイントは、「安全で、衛生的に作業をすること」、「周囲の人等に不快な印象を与えないこと」です。衣服のしわや靴の汚れにも注意しましょう。</p> <p>【不適切な服装等の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い髪をゴムで束ねていない。 ・ひげが伸びて清潔感がない。明らかな剃り残しがある。 ・爪が伸びている。（手の平側から指先を見たときに指から爪がはみ出ていたら長い爪と判断します。） ・マニキュアをしている。 ・プレスレット、指輪、ピアス等を身に付けている。（腕時計は付けてもかまいませんが、時計の水没や時計に付いた水滴が作業に影響を及ぼしたり、時計で物を傷つけたりしないようにする必要があります。） ・香水をつけていたり、派手な化粧をしたりしている。 ・第一ボタン以外のボタンを閉めていない。 ・上着のチャックをはずした状態で作業する。 ・シャツをズボンに入れていない。 ・半ズボンで作業する。 ・ベルト通しがあるズボンに、ベルトをしていない、ベルトを通していない箇所がある、又は、ベルトがねじれている。 ・靴紐がほどけている。 ・靴のかかとを踏んでいる。 ・サンダルを履いている。（安全でないため、「検定中止」となります。）
<p>資機材の準備をする</p>	<p>□必要な資機材を選択（自在ぼうき、文化ちりとり、作業表示板）し、資機材置き場に置く。</p> <p>□自在ぼうきの柄の先端がおおよそ、鼻からあごの間の位置で、使いやすい長さに調節してから、資機材置き場に置く。</p>	 	<p>※資機材は、引きずって移動しないようにしましょう。</p>
<p>審査員に開始を報告する</p>	<p>□「準備ができました。」等と準備ができたことを報告する。</p> <p>・審査員「始めてください。」</p> <p>□所定の位置（マット）に立ち、姿勢を正し、聞こえる声の大きさで、「○○立□□特別支援学校の☆☆◇◇（氏名）です。始めます。」等と学校名と氏名を伝え、開始を報告する。</p>		<p>※準備完了の報告があつたが準備が完全ではない場合や、準備開始の指示から2分経過した場合、審査員から1回のみ「準備に足りないところがあります。」、「準備の仕方が分かりますか。」等と伝えられます。その後、正しく準備をやり直した場合、評価は○になりますが、準備をやり直したが、準備が不十分な場合や、準備の仕方が分からなくなった場合は、審査員が教えてくれます。その場合、「資機材準備」の評価は×となりますが、その後の検定は継続できます。</p> <p>・就職後は、自分の所属先や氏名を正確に他者に伝える必要があります。広島県立や広島市立、姓名まで正確に伝えられるようにしましょう。ただし、評価の対象ではありません。</p>

<p>作業の準備をする</p>	<p>□ 試技コート(作業場所) 入口付近に、表示が見えるよう作業表示板を置く。</p>		<p>※作業表示板は、歩行者から見える場所、歩行者、試技者の妨げにならない場所に置きましよう。</p>
<p>入室する</p>	<p>・自在ほうきを持ち、入口で、「失礼します。」と言って一礼し、入室する。</p>		<p>※幅木や養生テープは、部屋の壁を表していません。入退室のときや作業中に、養生テープ等の上をまたいだり、資機材を通過させたりしないように意識しましょう。(養生テープ等の上をまたいだ(身体を通過させた)場合、「行動等」の評価が×となります。資機材は通過しても評価の対象とはなりません。)</p>
<p>掃き作業をする</p>	<p>【ほうきの持ち方】</p> <p>□ 柄の先端を親指で押さえ、その反対の手は順手で柄の下方を握る(添える)。</p>		<p>・反時計回りに掃く場合は、左手親指で柄の先端を押さえ、柄の下方を右順手で握りましよう(添えましよう)。</p> <p>・時計回りに掃く場合は、右手親指で柄の先端を押さえ、柄の下方を左順手で握りましよう(添えましよう)。</p>
	<p>【入口正面の掃き方】</p> <p>□ 自在ほうきで入口正面を掃く。自分の足が入る前に、横に2~3回掃き、歩くスペースを確保する。</p>		
	<p>【部屋の掃き方】</p> <p>□ 自在ほうきの幅(45cm)が壁(幅木、養生テープ)側に入る位置に立ち、幅木(養生テープ)に沿って掃く。</p> <p>□ 自分のかかとのやや後方から、幅木(養生テープ)に沿って前方へ掃き、つまさきの前までほうきを出す。そこから真横に掃く。(L字掃き)</p> <p>□ 掃いた後は、床にトントンと2回程度ほうきをたたきつけ、毛先に付いたゴミ(おがくず)を落とす。</p> <p>□ ほうきは両面を使用しない。同じ面のみを使用する。</p> <p>□ ほうきの横木が幅木に触れると幅木(壁)が傷つくため、ほうきの横木が幅木に当たったり、養生テープを越えたりしないようにする。</p> <p>□ 毛先は、押し付けるのではなく、軽く押さえる。掃き終わりに、毛先を振り上げない、毛先が床から離れない、ゴミ(おがくず)をはね上げないようにする。</p>		<p>・毛先に付いたゴミ(おがくず)が掃き終わった場所に残る可能性があるため、ほうきは両面を使用せず、同じ面のみ使用し、掃いた後は、床にトントンと2回程度ほうきをたたきつけ、毛先に付いたゴミ(おがくず)を落としましよう。</p> <p>・柄の先端を左手親指で押さええている場合は、反時計回りに掃き、柄の先端を右手親指で押さええている場合は、時計回りに掃きましよう。</p>
	<p>【部屋の隅の掃き方】</p> <p>・部屋の四隅は、自分のかかとのやや後方から掃き始め、幅木(養生テープ)から離れずに前方にまっすぐほうきを出す。</p> <p>□ ほうきの横木の壁(幅木、養生テープ)側を斜めに先行させながら、部屋の隅、角ぎりぎりまで掃く。</p>		

	<input type="checkbox"/> 中央のゴミ(おがくず)を1箇所に集める。		
残ったゴミの処理をする	<input type="checkbox"/> 文化ちりとりを取りに行き、集めたゴミ(おがくず)を取り残しがないように回収する。 <input type="checkbox"/> 正しい構えでほうきを持つ。(脇ではさむ、腕ではさむ、肩で支える) <input type="checkbox"/> 文化ちりとりの中に、ほうきの先半分を入れる。 <input type="checkbox"/> ほうきは両面を使用しない。同じ面のみを使用する。		
点検する	<input type="checkbox"/> 片方の手で自在ほうきと文化ちりとりを持ち、ゴミ(おがくず)の取り残しがないか四隅を指さし、点検する。		<ul style="list-style-type: none"> ・指さしと同時に「よし。」と言葉に出しましょう。 ・声が出ていなくても指をさして点検をしていればよいです。 <p>※ゴミ(おがくず)の取り残しがあれば、自在ほうきと文化ちりとりで取りましょう。</p>
退室する	<ul style="list-style-type: none"> ・資機材を持ち、出口で、室内に向かって、「失礼しました。」と言って一礼し、退室する。 		
片付けをする	<input type="checkbox"/> 資機材を資機材置き場にもどす。		
審査員に終了を報告する	<input type="checkbox"/> 所定の場所(マット)に立ち、姿勢を正す。 <input type="checkbox"/> 聞こえる声で「終わりました。」等と報告する。 【時間計測終了】		

掃き作業の手順



※柄の先端を左手で押さえている場合の参考手順

※柄の先端を右手で押さえている場合は逆方向となる

清掃技能検定<モップ>手順書【制限時間:10分00秒(標準時間:7分00秒)】




※制限時間:検定時間(制限時間を超えると試技の途中でも検定は終了となります)
 ※標準時間:効率のよい作業としての目安時間(標準時間を超えると「効率のよい作業」の評価対象となります)


【ポイント】

- 安全で、衛生的に、効率的な清掃作業をしましょう。
- 床をモップできれいに拭きましょう。

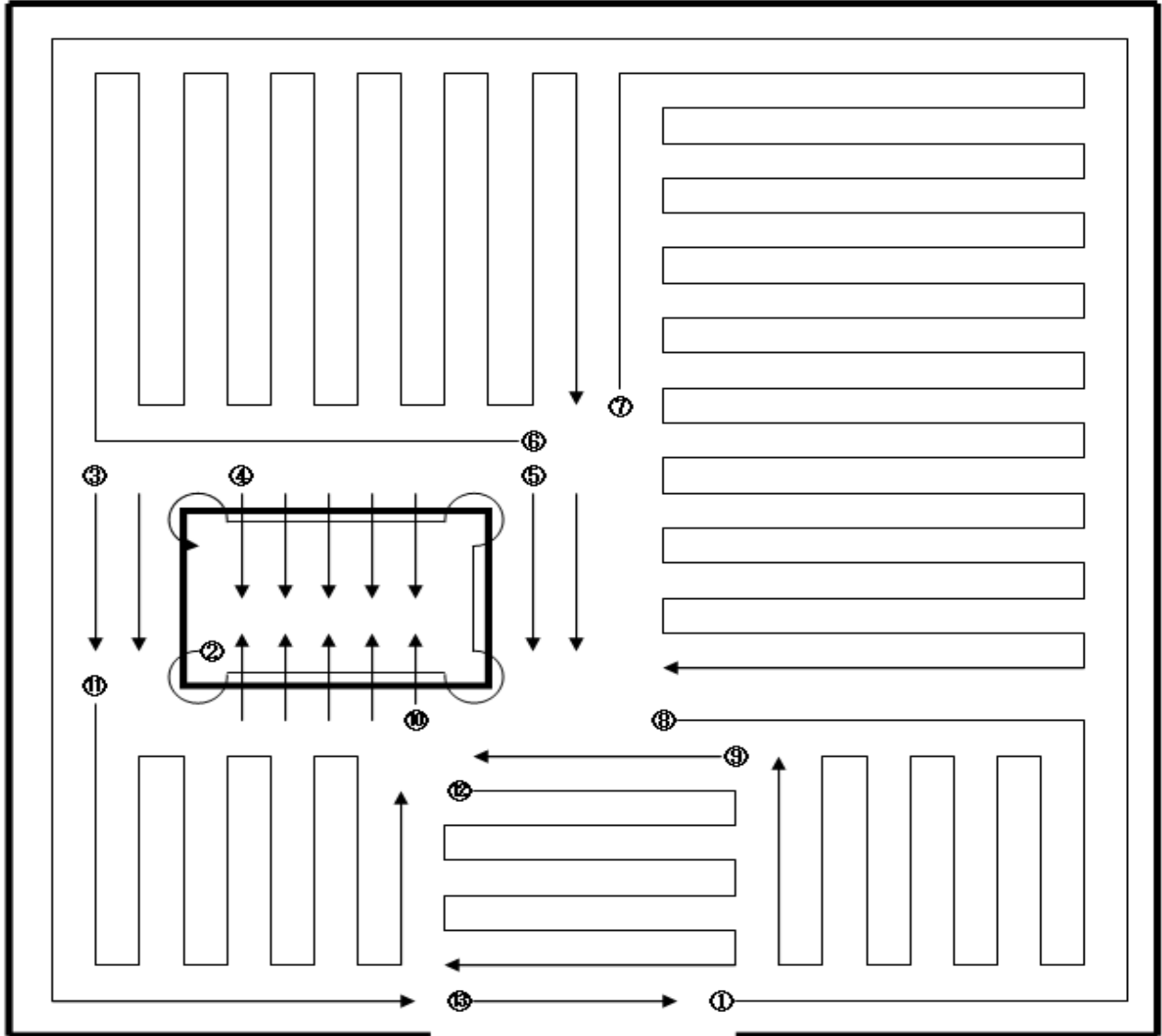
作業項目	作業内容 □:評価対象 ・:評価対象外		留意事項等 ※:評価に関わる事項
<p>審査員に呼ばれて準備開始</p>	<p>□適切な服装等で清掃作業をする。</p> <p>※名札を胸付近に固定することができない服装等の場合は、試技を行うときに名札を着用しなくてもかまいません。名札を着用せず試技を行う場合は、入室前に試技会場前の待機椅子の上に名札を置きましょう。</p> <p>□効率のよい作業をする。(試技を、標準時間以内に終了できない場合、「行動等」の評価が×となる。)</p> <p>□試技中(作業中)は走らない。</p> <p>・審査員「☆☆◇◇さん、マットの上に立ってください。」</p> <p>□「はい。」と返事をし、移動する。</p> <p>・審査員「準備を始めてください。」</p> <p>【時間計測開始】</p> <p>□「はい。」と返事をし、準備を始める。</p>		<p>※適切な服装と身だしなみで作業をすることが大切です。ポイントは、「安全で、衛生的に作業をすること」、「周囲の人等に不快な印象を与えないこと」です。衣服のしわや靴の汚れにも注意しましょう。</p> <p>【不適切な服装等の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い髪をゴムで束ねていない。 ・ひげが伸びて清潔感がない。明らかな剃り残しがある。 ・爪が伸びている。(手の平側から指先を見たときに指から爪がはみ出ていたら長い爪と判断します。) ・マニキュアをしている。 ・プレスレット、指輪、ピアス等を身に付けている。(腕時計は付けてもかまいませんが、時計の水没や時計に付いた水滴が作業に影響を及ぼしたり、時計で物を傷つけたりしないようにする必要があります。) ・香水をつけていたり、派手な化粧をしたりしている。 ・第一ボタン以外のボタンを閉めていない。 ・上着のチャックをはずした状態で作業する。 ・シャツをズボンに入れていない。 ・半ズボンで作業する。 ・ベルト通しがあるズボンに、ベルトをしていない、ベルトを通してない箇所がある、又は、ベルトがねじれている。 ・靴紐がほどけている。 ・靴のかかとを踏んでいる。 ・サンダルを履いている。(安全でないため、「検定中止」となります。)
<p>資機材の準備をする</p>	<p>□必要な資機材を選択(房糸(横木白色)、柄、作業表示板)し、資機材置き場に置く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・バケツには、3分の1程度、水が入った状態で、資機材置き場付近の床に準備してあります。 ・バケツの水をこぼさないように注意しましょう。大量の水がこぼれ、滑る危険性があると審査員が判断した場合は、「検定中止」となります。少量の水がこぼれた場合は、こぼれた水を踏まないように作業を継続しましょう。
<p>審査員に開始を報告する</p>	<p>□モップの柄の先端がおおよそ、鼻からあごの間の位置で、使いやすい長さで調節してから、資機材置き場に置く。</p>		<p>※資機材は、引きずって移動ないようにしましょう。</p>
<p>審査員に開始を報告する</p>	<p>□「準備ができました。」等と準備ができたことを報告する。</p> <p>・審査員「始めてください。」</p> <p>□所定の位置(マット)に立ち、姿勢を正し、聞こえる声の大きさを、「〇〇立□□特別支援学校の☆☆◇◇(氏名)です。始めます。」等と学校名と氏名を伝え、開始を報告する。</p>		<p>※準備完了の報告があつたが準備が完全ではない場合や、準備開始の指示から2分経過した場合、審査員から1回のみ「準備に足りないと」ころがあります。」「準備の仕方が分かりますか。」等と伝えられます。その後、正しく準備をやり直した場合、評価は○になりますが、準備をやり直したが、準備が不十分な場合や、準備の仕方が分からなくなった場合は、審査員が教えてくれます。その場合、「資機材準備」の評価は×となりますが、その後の検定は継続できます。</p> <p>・就職後は、自分の所属先や氏名を正確に他者に伝える必要があります。広島県立や広島市立、姓名まで正確に伝えられるようにしましょう。ただし、評価の対象ではありません。</p>

	<p>□ 試技コート(作業場所) 入口付近に、表示が見えるよう作業表示板を置く。</p>		<p>※作業表示板は、歩行者から見える場所、歩行者、試技者の妨げにならない場所に置きましよう。</p>
<p>作業の準備をする</p>	<p>【房糸を絞る等】</p> <p>□ バケツの水で、房糸をぬらし、房糸をしっかりと絞る。(水滴が落ちない程度絞る。)</p> <p>□ 絞り終わったら房糸を、手ぐしやゆらし、まっすぐに整える。</p>		<p>※房糸から水滴が落ちない程度に絞ることが大切です。水滴が落ちていてもそのまま検定は継続しますが、絞る作業の評価は×となります。</p> <p>・房糸を半分(3分割)にし、片手で横木を持ち、反対の手でねじると、絞りやすいです。</p>
	<p>【房糸のセット】</p> <p>・房糸と柄を手に取り、マット上で、柄に房糸を取り付ける。</p> <p>□ 柄のピンチを開き、房糸のジョイント部にまっすぐはめ、しっかりと固定する。</p>		<p>※柄のピンチ部と房糸のジョイント部をしっかりと固定しましょう。作業途中で、ジョイント部から「カチツ」と音がする等、しっかりと固定されていない場合は、「房糸のセット」の評価は×となります。</p>
<p>入室する</p>	<p>・モップを持ち、入口で、「失礼します。」と言って一礼し、入室する。</p>		<p>※幅木や養生テープは、部屋の壁を表していません。入退室のときや作業中に、養生テープ等の上をまたいだり、資機材を通過させたりしないように意識しましょう。(養生テープ等の上をまたいだ(身体を通過させた)場合、「行動等」の評価が×となります。資機材は通過しても評価の対象とはなりません。)</p>
	<p>【モップの持ち方】</p> <p>□ 親指で柄の先端を押さえ、反対の手は順手で柄の下方を握る(添える)。</p> <p>□ 壁(幅木、養生テープ)際を拭く場合は、柄の先端が肩付近になるように持つ。</p>		
	<p>【壁際の拭き方】</p> <p>□ 房糸を横木より後ろにし、押しながら拭く。</p> <p>□ まっすぐ進んで、拭いたあとを踏まない。</p> <p>□ 房糸が幅木に触れない(房糸が養生テープを完全に超えない)ように拭く。</p>		<p>・房糸を半分に分けて、横木で房糸を押さえ、押しながら拭く方法でもかまいません。</p>

	<p>【部屋の隅の拭き方】</p> <p>□部屋の隅は、右膝を着き、柄を左肩に引きつけ、房糸に右手を添えて、房糸が幅木に触れない(房糸が養生テープを完全に超えない)ように拭く。</p>		
<p>モップ掛けをする</p>	<p>【机の脚周りの拭き方】</p> <p>□机の脚周りは、左膝を着き、柄を右肩に引きつけ、房糸を左手で持って、机(机の脚)に柄や房糸を当てないように拭く。</p>		
	<p>【机の下等の拭き方】</p> <p>□柄を持ち、反対の手は順手で柄の下方を握り(添え)ながら拭く。</p> <p>□机の右側、机の下、机の左側の順に拭く。</p> <p>□机(机の脚)に柄や房糸を当てないように拭く。</p>		<p>・房糸に手を添えて、机の脚周りを拭いた後は、柄を持ち、反対の手は順手で柄の下方を握り(添え)ながら拭きましょう。逆手で柄の下方を握る(添える)と、机下の補助棒にぶつやすくなります。</p>
	<p>【中央の拭き方】</p> <p>□拭き幅の中央付近に立ち、横一直線に拭く。</p> <p>□半歩(靴の半分)ずつ後退しながら拭く。</p> <p>□同じ面で拭いているときには、横木を浮かさないようにし、拭き跡を少し重ねながら拭く。</p> <p>□房糸を時々ひっくり返して拭く。</p>		<p>※拭き跡を少し重ねながら、拭きましょう。</p>
	<p>【出入口の拭き方】</p> <p>□半歩(靴の半分)ずつ後退しながら拭き、出入口付近は房糸を手で持って拭く。</p>		<p>※拭き残しのないようにしましょう。拭き残しがある場合、評価は×になります。</p> <p>※靴跡が残らないようにしましょう。拭いたあとを踏んだ場合、評価は×になります。</p>
<p>退室する</p>	<p>・資機材を持ち、出口で、室内に向かって、「失礼しました。」と言って一礼し、退室する。</p>		

<p>片付けをする</p>	<p>□房糸をマット上ではずし、資機材を資機材置き場にもどす。</p>		
<p>審査員に終了を報告する</p>	<p>□所定の場所(マット)に立ち、姿勢を正す。 □聞こえる声で「終わりました。」等と報告する。 【時間計測終了】</p>		

モップ拭き作業の手順



※参考手順

清掃技能検定<ダスタークロス>手順書【制限時間:10分00秒(標準時間:7分00秒)】

※制限時間:検定時間(制限時間を超えると試技の途中でも検定は終了となります)






※標準時間:効率のよい作業としての目安時間(標準時間を超えると「効率のよい作業」の評価対象となります)

【ポイント】

○安全で、衛生的に、効率的な清掃作業をしましょう。







○床をダスタークロスできれいにしましょう。

作業項目	作業内容 □:評価対象 ・:評価対象外		留意事項等 ※:評価に関わる事項
<p>審査員に呼ばれて準備開始</p>	<p>□適切な服装等で清掃作業をする。</p> <p>※名札を胸付近に固定することができない服装等の場合は、試技を行うときに名札を着用しなくてもかまいません。名札を着用せず試技を行う場合は、入室前に試技会場前の待機椅子の上に名札を置きましょう。</p> <p>□効率のよい作業をする。(試技を、標準時間以内に終了できない場合、「行動等」の評価が×となる。)</p> <p>□試技中(作業中)は走らない。</p> <p>・審査員「☆☆◇◇さん、マットの上に立ってください。」</p> <p>□「はい。」と返事をし、移動する。</p> <p>・審査員「準備を始めてください。」</p> <p>【時間計測開始】</p> <p>□「はい。」と返事をし、準備を始める。</p>		<p>※適切な服装と身だしなみで作業をすることが大切です。ポイントは、「安全で、衛生的に作業をすること」、「周囲の人等に不快な印象を与えないこと」です。衣服のしわや靴の汚れにも注意しましょう。</p> <p>【不適切な服装等の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い髪をゴムで束ねていない。 ・ひげが伸びて清潔感がない。明らかな剃り残しがある。 ・爪が伸びている。(手の平側から指先を見たときに指から爪がはみ出していたら長い爪と判断します。) ・マニキュアをしている。 ・ブレスレット、指輪、ピアス等を身に付けている。(腕時計は付けてもかまいませんが、時計の水没や時計に付いた水滴が作業に影響を及ぼしたり、時計で物を傷つけたりしないようにする必要があります。) ・香水をつけていたり、派手な化粧をしたりしている。 ・第一ボタン以外のボタンを閉めていない。 ・上着のチャックをはずした状態で作業する。 ・シャツをズボンに入れていない。 ・半ズボンで作業する。 ・ベルト通しがあるズボンに、ベルトをしていない、ベルトを通してない箇所がある、又は、ベルトがねじれている。 ・靴紐がほどけている。 ・靴のかかとを踏んでいる。 ・サンダルを履いている。(安全でないため、「検定中止」となります。)
	<p>□必要な資機材を選択(クロス、ヘッド、柄、自在ぼうき、文化ちりとり、作業表示板)し、資機材置き場に置く。</p>		<p>※資機材は、引きずって移動しないようにしましょう。</p>
<p>資機材の準備をする</p>	<p>□ダスタークロスの柄の先端がおおよそ、あごから首の間の位置で、使いやすい長さに調節してから、資機材置き場に置く。</p> <p>□自在ぼうきの柄の先端がおおよそ、鼻からあごの間の位置で、使いやすい長さに調節してから、資機材置き場に置く。</p>		
	<p>【クロスの設定】</p> <p>□マット上で、ヘッドにクロスを装着してから、資機材置き場に置く。</p> <p>□ヘッドは、スポンジ面を上向きにして、床や資機材置き場に置く。</p> <p>□クロスを手頭の中央に装着する。</p> <p>□4か所のヘッドピンチを開き、クロスをはさんで、ピンチを閉じ、たるみなくクロス留める。</p>		

<p>審査員に開始を報告する</p>	<p><input type="checkbox"/>「準備ができました。」等と準備ができたことを報告する。</p> <p>・審査員「始めてください。」</p> <p><input type="checkbox"/>所定の位置(マット)に立ち、姿勢を正し、聞こえる声の大きさを、「〇〇立〇〇特別支援学校の☆☆◇◇(氏名)です。始めます。」等と学校名と氏名を伝え、開始を報告する。</p>		<p>※準備完了の報告があったが準備が完全ではない場合や、準備開始の指示から2分経過した場合、審査員から1回のみ「準備に足りないところがあります。」「準備の仕方が分かりますか。」等と伝えられます。その後、正しく準備をやり直した場合、評価は〇になりますが、準備をやり直したが、準備が不十分な場合や、準備の仕方が分からなくなった場合は、審査員が教えてくれます。その場合、「資機材準備」の評価は×となりますが、その後の検定は継続できます。</p> <p>・就職後は、自分の所属先や氏名を正確に他者に伝える必要があります。広島県立や広島市立、姓名まで正確に伝えられるようにしましょう。ただし、評価の対象ではありません。</p>
<p>作業の準備をする</p>	<p><input type="checkbox"/>試技コート(作業場所)入口付近に、表示が見えるよう作業表示板を置く。</p>		<p>※作業表示板は、歩行者から見える場所、歩行者、試技者の妨げにならない場所に置きましょう。</p>
	<p>【ヘッドのセット】</p> <p><input type="checkbox"/>クロスを装着したヘッドと柄を手に取り、マット上で、柄にヘッドを取り付ける。</p> <p><input type="checkbox"/>柄のピンチを開き、ヘッドのジョイント部にまっすぐはめ、しっかり固定する。</p>		<p>※柄のピンチ部とヘッドのジョイント部をしっかりと固定しましょう。作業途中で、ジョイント部から「カチッ」と音がする等、しっかりと固定されていない場合は、「ヘッドのセット」の評価は×となります。</p>
<p>入室する</p>	<p>・ダスタークロスを持ち、入口で、「失礼します。」と言って一礼し、入室する。</p>		<p>※幅木や養生テープは、部屋の壁を表していません。入退室のときや作業中に、養生テープ等の上をまたいだり、資機材を通過させたりしないように意識しましょう。(養生テープ等の上をまたいだ(身体を通過させた)場合、「行動等」の評価が×となります。資機材は通過しても評価の対象とはなりません。)</p>
<p>【ダスタークロスの持ち方】</p> <p><input type="checkbox"/>親指で柄の先端を押さえ、反対の手は順手で柄の下方を握る(添える)。</p> <p><input type="checkbox"/>ダスタークロスを押して拭くときは、柄の先端が肩付近になるように持つ。</p>			
<p>【入口の拭き方】</p> <p><input type="checkbox"/>半円を描くように入口を拭いて、試技コート(作業場所)へ入る。</p>		<p>・広めに足場を確保し、ゴミ(おがくず)を踏まないようにしましょう。(拭いたところに入りましょう。)</p>	

ダスタークロスを掛ける

<p>【壁際の拭き方】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ヘッドの長いほうを前にして拭く。 □ヘッドの壁(幅木、養生テープ)側を先行させて拭く。 □養生テープの場合、ヘッドが養生テープを完全に超えないようにする。 □後退しないように拭く。 □クロスを浮かさないようにする。 □ゴミ(おがくず)の上を歩かず、拭いたあとを歩く。 □ゴミ(おがくず)の取り残しがないようにする。 		
<p>【部屋の隅】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ヘッドの壁(幅木、養生テープ)側を先行させながら、部屋の隅、角ぎりぎりまで拭く。 □養生テープの場合、ヘッドが養生テープを完全に超えないようにする。 □後退しないように拭く。 □クロスを浮かさないようにする。 □ゴミ(おがくず)の上を歩かず、拭いたあとを歩く。 		
<p>【中央の拭き方】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ヘッドを半回転させ、左右に振りながら拭く。 □ヘッドの長いほうでゴミ(おがくず)を取る。 □机(机の脚)に柄を当てないように拭く。 □後退しないように拭く。 □クロスを浮かさないようにする。 □ゴミ(おがくず)の上を歩かず、拭いたあとを歩く。 □ゴミ(おがくず)の取り残しがないようにする。 		
<ul style="list-style-type: none"> □前進しながら出口に向かって、ゴミ(おがくず)を1箇所を集める。 		
<p>【クロスの処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> □コート内で、柄からヘッドをはずす。 □クロスを浮かさないようにする。 		

	<p><input type="checkbox"/>使用済みのクロスをヘッドからはずす。</p> <p><input type="checkbox"/>ヘッドは、スポンジ面を上向きにして、床に置く。</p> <p><input type="checkbox"/>はずしたクロスは、両手で手前にひっくり返し、汚れた面を内側にしてたたむ。(ゴミ(おがくず)の上にひっくり返さない。)</p>		
	<p><input type="checkbox"/>使用済みのクロスをゴミ箱に捨てる。</p>		
	<p><input type="checkbox"/>ヘッドと柄を資機材置き場にもどす。</p> <p><input type="checkbox"/>ヘッドは、スポンジ面を上向きにして、資機材置き場に置く。</p>		
<p>残ったゴミの処理をする</p>	<p><input type="checkbox"/>自在ぼうきと文化ちりとりを取り、ゴミ(おがくず)を取る。</p> <p><input type="checkbox"/>正しい構えでほうきを持つ。(脇ではさむ、腕ではさむ、肩で支える)</p> <p><input type="checkbox"/>文化ちりとりの中に、ほうきの先半分を入れる。</p> <p><input type="checkbox"/>ほうきは両面を使用しない。同じ面のみを使用する。</p> <p><input type="checkbox"/>机の下を含め、ゴミ(おがくず)の取り残しがないようにする。</p> <p><input type="checkbox"/>机の下をほうきで掃く場合は、机(机の脚)にほうきの柄や横木を当てないようにする。</p>		
<p>点検</p>	<p><input type="checkbox"/>片方の手で自在ぼうきと文化ちりとりを持ち、ゴミ(おがくず)の取り残しがないか四隅と机周りを指さし、点検する。</p>		<p>・指さすと同時に「よし。」と言葉に出しましょう。</p> <p>・声が出ていなくても指をさして点検をしていればよいです。</p> <p>※ゴミ(おがくず)の取り残しがあれば、自在ぼうきと文化ちりとりで取りましょう。</p>
<p>退室する</p>	<p>・資機材を持ち、出口で、室内に向かって、「失礼しました。」と言って一礼し、退室する。</p>		

清掃技能検定<スクイージー>手順書【制限時間:15分00秒(標準時間:11分00秒)】







※制限時間:検定時間(制限時間を超えると試技の途中でも検定は終了となります)
 ※標準時間:効率のよい作業としての目安時間(標準時間を超えると「効率のよい作業」の評価対象となります)

【ポイント】



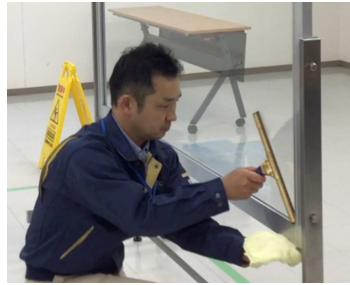

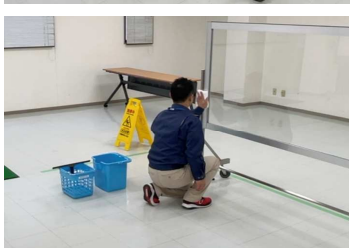


- 安全で、衛生的に、効率的な清掃作業をしましょう。
- 窓と窓枠をスクイージーとタオルできれいにしましょう。


作業項目	作業内容 □:評価対象 ・:評価対象外		留意事項等 ※:評価に関わる事項
<p>審査員に呼ばれて準備開始</p>	<p>□適切な服装等で清掃作業をする。</p> <p>※名札を胸付近に固定することができない服装等の場合は、試技を行うときに名札を着用しなくてもかまいません。名札を着用せず試技を行う場合は、入室前に試技会場前の待機椅子の上に名札を置きましょう。</p> <p>□効率のよい作業をする。(試技を、標準時間以内に終了できない場合、「行動等」の評価が×となる。)</p> <p>□試技中(作業中)は走らない。</p> <p>・審査員「☆☆◇◇さん、マットの上に立ってください。」</p> <p>□「はい。」と返事をし、移動する。</p> <p>・審査員「準備を始めてください。」</p> <p>【時間計測開始】</p> <p>□「はい。」と返事をし、準備を始める。</p>		<p>※適切な服装と身だしなみで作業をすることが大切です。ポイントは、「安全で、衛生的に作業をすること」、「周囲の人等に不快な印象を与えないこと」です。衣服のしわや靴の汚れにも注意しましょう。</p> <p>【不適切な服装等の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い髪をゴムで束ねていない。 ・ひげが伸びて清潔感がない。明らかな剃り残しがある。 ・爪が伸びている。(手の平側から指先を見たときに指から爪がはみ出ていると長い爪と判断します。) ・マニキュアをしている。 ・プレスレット、指輪、ピアス等を身に付けている。(腕時計は付けてもかまいませんが、時計の水没や時計に付いた水滴が作業に影響を及ぼしたり、時計で物を傷つけたりしないようにする必要があります。) ・香水をつけていたり、派手な化粧をしたりしている。 ・第一ボタン以外のボタンを閉めていない。 ・上着のチャックをはずした状態で作業する。 ・シャツをズボンに入っていない。 ・半ズボンで作業する。 ・ベルト通しがあるズボンに、ベルトをしていない、ベルトを通していない箇所がある、又は、ベルトがねじれている。 ・靴紐がほどけている。 ・靴のかかとを踏んでいる。 ・サンダルを履いている。(安全でないため、「検定中止」となります。)
<p>資機材の準備をする</p>	<p>□必要な資機材を選択(スクイージー、黄タオル、白タオル、収納ケース、作業表示板)し、資機材置き場に置く。</p> <p>□スクイージーは、ゴム刃を上向きにして、資機材置き場に置く。</p> <p>□タオルは広げて、資機材置き場に置く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・黄タオルは濡れ拭き用、白タオルは乾拭き用です。 ・システムバケツには、3分の1程度、水が入った状態で、資機材置き場付近の床に準備してあります。 ・バケツの水をこぼさないように注意しましょう。大量の水がこぼれ、滑る危険性があると審査員が判断した場合は、「検定中止」となります。少量の水がこぼれた場合は、こぼれた水を踏まないように作業を継続しましょう。
<p>審査員に開始を報告する</p>	<p>□「準備ができました。」等と準備ができたことを報告する。</p> <p>・審査員「始めてください。」</p> <p>□所定の位置(マット)に立ち、姿勢を正し、聞こえる声の大きさに、「○○立□□特別支援学校の☆☆◇◇(氏名)です。始めます。」等と学校名と氏名を伝え、開始を報告する。</p>		<p>※準備完了の報告があつたが準備が完全ではない場合や、準備開始の指示から2分経過した場合、審査員から1回のみ「準備に足りないところがあります。」「準備の仕方が分かりますか。」等と伝えられます。その後、正しく準備をやり直した場合、評価は○になりますが、準備をやり直したが、準備が不十分な場合や、準備の仕方が分からなくなった場合は、審査員が教えてくれます。その場合、「資機材準備」の評価は×となりますが、その後の検定は継続できます。</p> <p>・就職後は、自分の所属先や氏名を正確に他者に伝える必要があります。広島県立や広島市立、姓名まで正確に伝えられるようにしましょう。ただし、評価の対象ではありません。</p>

<p>作業の準備をする</p>	<p>□ 試技コート(作業場所)入口付近に、表示が見えるよう作業表示板を置く。</p>		<p>※作業表示板は、歩行者から見える場所、歩行者、試技者の妨げにならない場所に置きましよう。</p>
<p>作業の準備をする</p>	<p>【タオルの準備等】</p> <p>□ タオル(黄・白)を机の上で、8つ折にし、タオルの端をおおよそ、そろえてたむ。</p> <p>□ 収納ケースに、たたんだタオル(黄・白)とスクイージーを入れる。</p>		
<p>入室する</p>	<p>・収納ケースを片方の手に、もう片方の手にシステムバケツを持ち、入口で、「失礼します。」と言って一礼し、入室する。</p>		<p>※幅木や養生テープは、部屋の壁を表していません。入退室のときや作業中に、養生テープ等の上をまたいだり、資機材を通過させたりしないように意識しましょう。(養生テープ等の上をまたいだ(身体を通過させた)場合、「行動等」の評価が×となります。資機材は通過しても評価の対象とはなりません。)</p>
<p>作業の準備をする</p>	<p>□ 収納ケースとシステムバケツを作業の妨げにならないガラス台付近に持ち運ぶ。</p>		<p>・スクイージーは、ゴム刃を傷つけないようにするため、使用しないときは、収納ケース上部へ掛けておきましょう。</p> <p>※資機材は、引きずって移動しないようにしましょう。</p>
<p>作業の準備をする</p>	<p>【タオルの絞り方】</p> <p>□ 黄タオルをゆるめに絞る。</p> <p>□ 片膝を床に着けた姿勢で行う。</p> <p>□ 床にべたっとすねを着けないようにする。</p> <p>□ バットと同じ握り方で、腕を伸ばしながら内側に絞る。(完全に伸びていなくてもよい。)</p> <p>□ 手に付いている水滴を黄タオルで拭く。</p> <p>□ タオルは、床に置かないようにする。</p>		
<p>作業の準備をする</p>	<p>【ガラス面のタオルの持ち方】</p> <p>□ タオルのばらけている方を親指ではさんで拭く。</p> <p>□ 指を広げて拭く。</p> <p>□ 手の平をタオルに着けて拭く。</p> <p>□ 手をタオルの中心に置いて拭く。</p>		

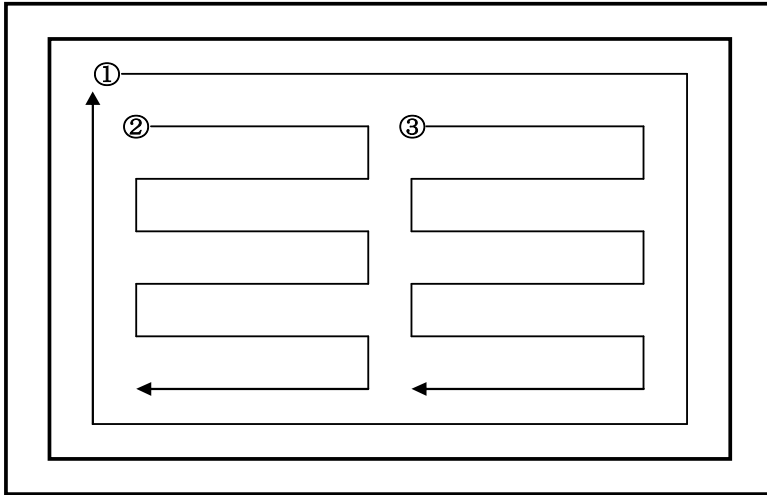
<p>【水拭き】</p> <p>□ガラスのふちを時計回りに一周して、隅まで拭く。</p> <p>□四隅は指先を使い、押し込むようにする。</p> <p>□ふちを拭き終わったら、タオル面をきれいな面に変えて、残りのガラス面全体を横に拭く。</p> <p>□拭き残しがないようにする。</p> <p>□汚れがあれば、きれいにふき取る。</p>		
<p>【タオルを絞る】</p> <p>□使用した黄タオルを、水ですすいで、しっかり絞る。(水滴が落ちない程度絞る。)</p>		
<p>【縦作業】</p> <p>・絞ったタオルを片手に、スクイージーをもう片方の手に持つ。</p>		
<p>□左上から真下へ、スクイージーを引き下ろし、下枠から10～20cm程度残して止める。</p> <p>□スクイージーの引き跡を残さないようにするため、左側(作業の終わった側)のゴム刃を3cm程度傾け、先行させる。</p>		<p>・右上から作業することも可能です。その場合は、右側(作業の終わった側)のゴム刃を3cm程度傾け、先行させましょう。</p>
<p>□スクイージーを引き下ろすときは、ゴム刃の角度を一定に保ち、ゴム刃を軽く押し付けるようにする。</p> <p>□膝を使って腰を落とし、途中で止めたり浮かせたりすることなく、一気に引き下ろす。</p>		<p>・力を入れてゴム刃を押し付け過ぎると、水切り操作がしにくくなります。(音が鳴ります。)</p>
<p>□スクイージーを引くたびに、ゴム刃の端から端までを、下から上に向かって、黄タオルで拭く。</p> <p>□一列右に移動し、縦作業をくり返す。</p> <p>□前の引き跡に5cm程度重なるように引き下ろす。</p>		<p>・右上から作業する場合、一列左に移動しましょう。</p>

スクイージー作業をする

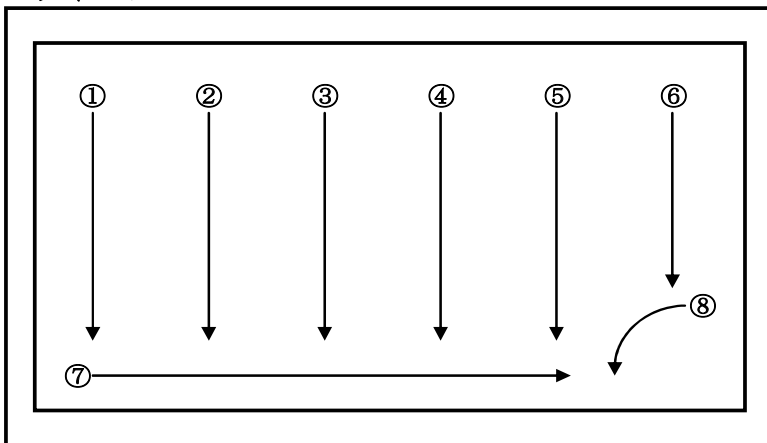
<p>□下枠から10～20cm付近(スクイージーを止めた付近)に溜まった余分な水を黄タオルで拭く。</p>		
<p>【横作業】</p> <p>□ガラス面最下部に、スクイージーの上部を3cm程度進行方向に傾け、左から右(右上から作業をする場合は、右から左)に引く。</p> <p>□水滴を床に落とさないように、窓枠下部にタオルを添えて引く。</p> <p>□縦枠まで15cm程度残して止める。</p>		<p>※ガラス面最下部にシリコンゴムがあるタイプの窓枠の場合は、シリコンゴムにスクイージーのゴム刃を乗り上げないようにしましょう。上手く水が切れなくなります。シリコンゴム付近に残った水は、ガラスのふちを拭く作業で取りましょう。</p>
<p>【扇形作業】</p> <p>□最後に、右下コーナー(右上から作業をする場合は、左下コーナー)へスクイージーを立てて、扇形に引き下ろして仕上げる。</p> <p>□身体をガラス面に近づけ、窓枠下部にタオルを添えて引く。</p> <p>□途中で止めたり、スクイージーを浮かしたりしないようにする。</p>		
<p>□黄タオルを水ですすいで、しっかり絞る。(水滴が落ちない程度絞る。)</p> <p>□黄タオルを16折りにし、窓枠を左上から時計回りに(右上から作業をする場合は反時計回りに)往復動作で水拭きする。</p> <p>□白タオルを16折りにし、窓枠を左上から時計回りに(右上から作業をする場合は反時計回りに)往復動作で乾拭きする。</p> <p>□タオルをガラス面に付けない。</p>	 	
<p>□白タオルを2つ折りにし、中に人差し指を入れ、ガラスのふちを左上から時計回りに(右上から作業をする場合は反時計回りに)乾拭きする。</p> <p>□一边を拭くごとに、白タオルのきれいなところを出して拭く。</p> <p>□ガラス面に手や腕、タオルの下部(乾拭きしていない部分)が触れないようにする。</p>		<p>・白タオルに指先をあてがいがい、四隅も正確に拭きましょう。</p>
<p>□白タオルを持ったまま、仕上がりを指差し点検する。</p> <p>□補修の必要のある箇所(水滴が残っている箇所等)を白タオルで拭き直す。</p>		<p>・指さしと同時に「よし。」と言葉に出しましょう。</p> <p>・声が出ていなくても指をさして点検をしていればよいです。</p>

	<p>□黄タオルを水ですすいで、しっかり絞り(水滴が落ちない程度絞り)、補強棒と床、システムバケツの周りを水拭きする。</p>		
<p>退室する</p>	<p>・資機材を持ち、出口で、室内に向かって、「失礼しました。」と言って一礼し、退室する。</p>		
<p>片付けをする</p>	<p>□資機材を資機材置き場にもどす。 □収納ケースからスクイージーとタオルを出す。(タオルはたたんだままもどす。) □スクイージーは、ゴム刃を上向きにして、資機材置き場に置く。</p>		<p>・タオルはたたんだまま、もどしましょう。広げて、もどしてもかまいません。 ・収納ケースは、机付近の床にもどしてもかまいません。</p>
<p>審査員に終了を報告する</p>	<p>□所定の場所(マット)に立ち、姿勢を正す。 □聞こえる声で「終わりました。」等と報告する。 【時間計測終了】</p>		

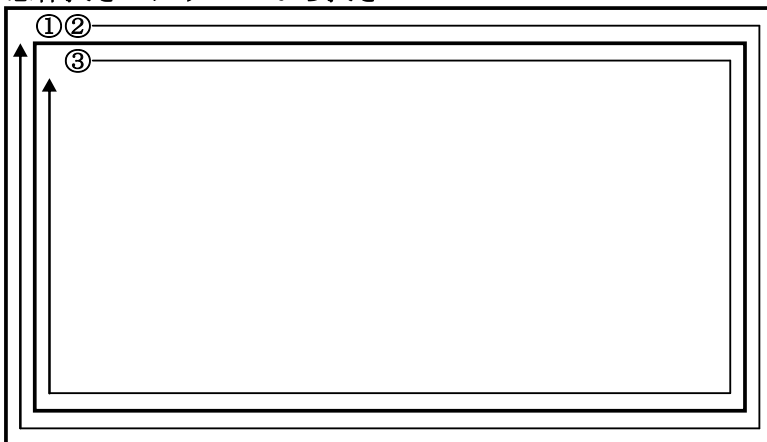
水塗布



スクイージー



窓枠拭き・ガラスのふち拭き



※参考手順

清掃技能検定受検上の留意事項

1 検定時間

各種目の制限時間（検定終了時間）は、次のとおりとする。

なお、試技が順調に進んでおり、若干の時間超過で完了できる見込みがあれば、審査員の判断により継続することも可能とする。

また、各種目に効率のよい作業時間の目安として、標準時間を設ける。標準時間を超えた場合、評価項目の「効率のよい作業」の評価対象とする。

テーブル拭き	7分【標準時間：5分】
自在ぼうき	10分【標準時間：7分】
モップ	10分【標準時間：7分】
ダスタークロス	10分【標準時間：7分】
スクイージー	15分【標準時間：11分】

2 服装

受検者は、検定会場の更衣室で、作業に適した服装に着替えること。

3 資機材

次の検定会場の仕様等の「検定会場で必要な資機材等」に示した資機材を主催者が準備し、原則として、これを使用すること。

生徒の実態により、別途持参した資機材や支援具等を使用する必要がある場合には、事前に相談すること。

4 資機材の選択

適切な資機材を選択する力を評価するために、検定会場には、使用する資機材に加え使用しない資機材も準備する。

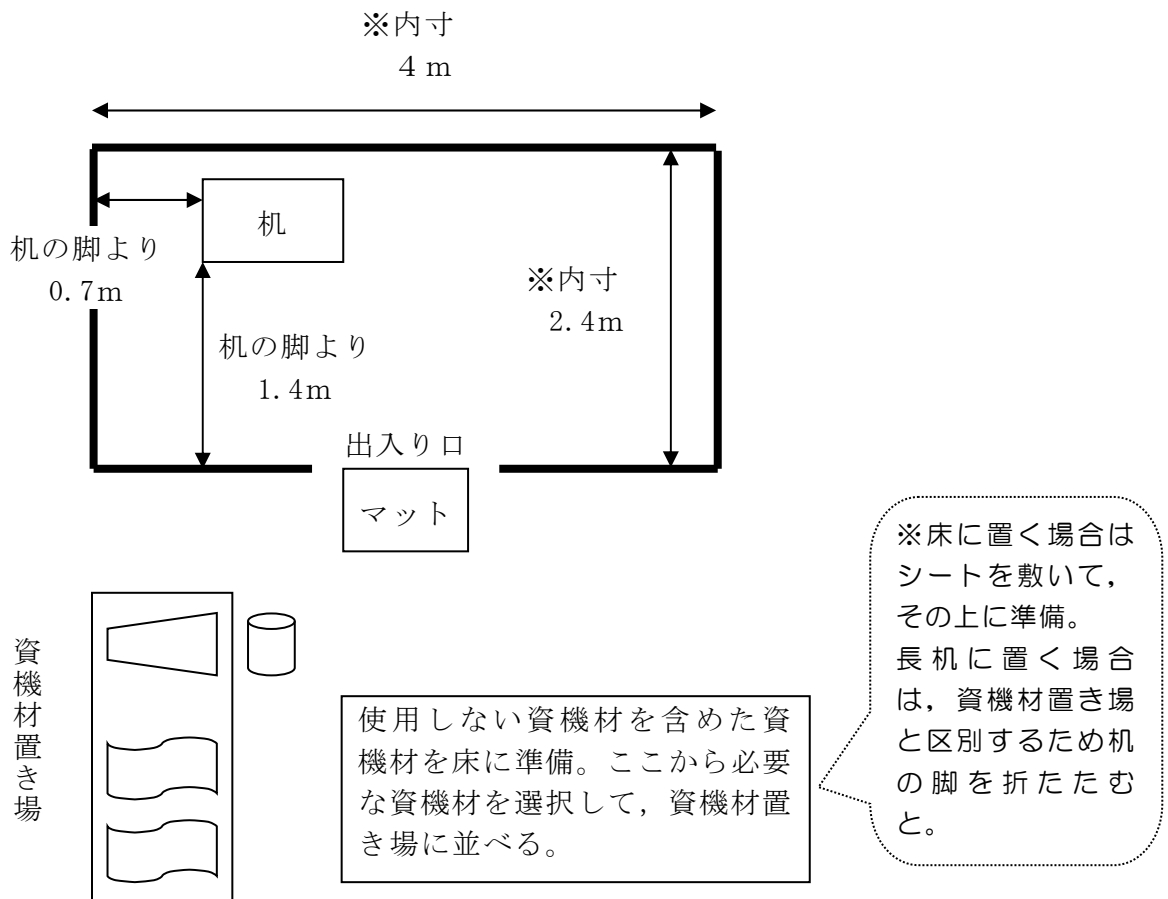
これらから必要な資機材を選択して、資機材置き場に並べるものとする。

検定会場の仕様等

● テーブル拭き

- 1 テープ又は幅木により区画されたおおよそ2.4m×4mの範囲を試技コートとします。
- 2 テープ又は幅木の上には壁があるものとして作業を行います。
- 3 テーブルの大きさは、おおよそ90cm×65cmの机を基準とします。
会場の都合により異なる場合がありますが、拭く手順は、同様とします。
- 4 資機材の選択について
タオルは、4種類（白色、黄色、青色、赤色）の中から、白色と黄色を選択して使用することとします。

配置図



- ※ 資機材置き場等の位置及び内寸については、会場の都合で変更することがあります。
- ※ 資機材置き場のスペースは資機材を安定した状態で置くことのできる十分なスペースを準備します。
- ※ 資機材置き場と床等に資機材を準備する場所の距離は、4m以内とします。

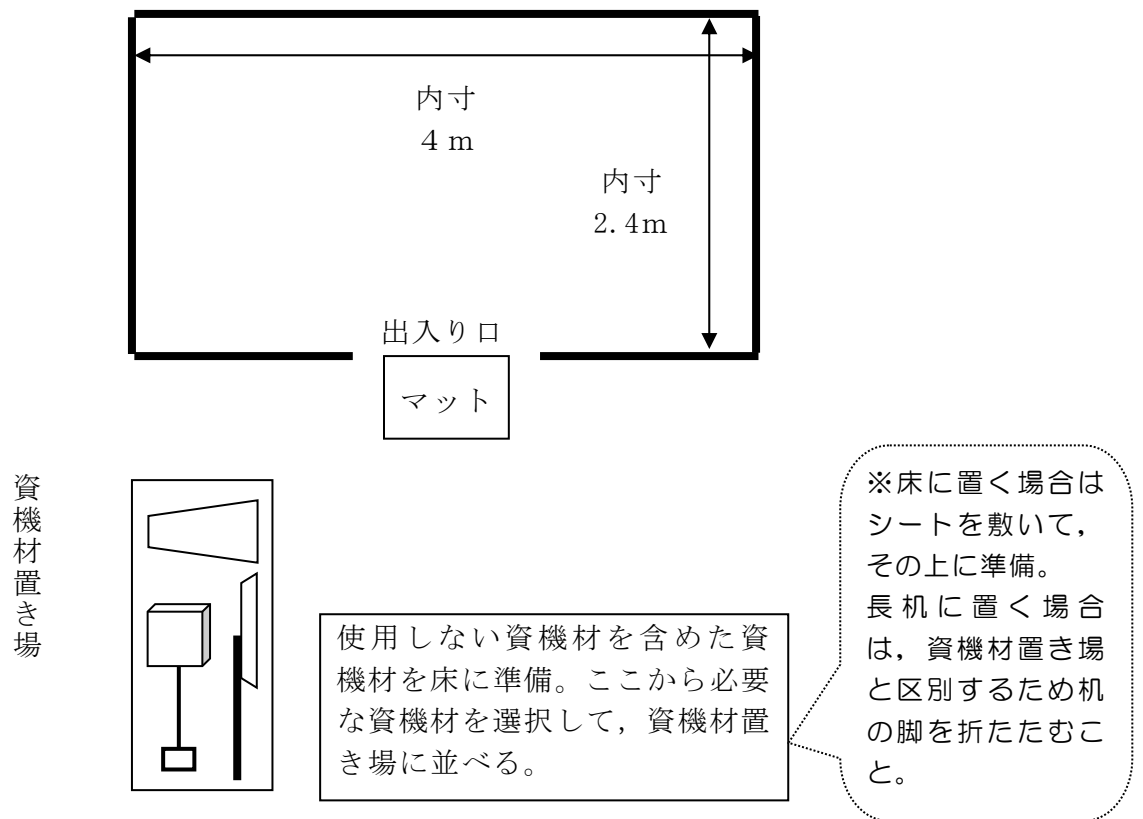
検定会場で必要な資機材等（テーブル拭き）

品名	寸法又は規格等	数量
幅木	検定用幅木又は緑テープ	1
机	おおよそ90 c m×65 c m	1
マット	エコレインマット（グリーン）	1
机（資機材置き場）	長机	1
バケツ	10ℓ程度 ※ 3分の1程度水を入れて、資機材置き場付近の床に準備する	1
作業表示板	検定用	1
乾拭き用タオル	白色タオル	1
濡れ拭き用タオル	黄色タオル	1
タオル（選択肢用）	赤色タオル	1
タオル（選択肢用）	青色タオル	1

● 自在ぼうき

- 1 テープ又は幅木により区画されたおおよそ2.4m×4mの範囲を試技コートとします。
- 2 テープ又は幅木の上には壁があるものとして作業を行います。
- 3 資機材の選択について
ほうきは、3種類（自在ぼうき、座敷ぼうき、シダぼうき）の中から、自在ぼうきを選択して使用することとします。
ちりとりは、3種類（文化ちりとり、ホームダスト、鉄道ちりとり）の中から、文化ちりとりを選択して使用することとします。

配置図



- ※ 資機材置き場等の位置は、会場の都合で変更することがあります。
- ※ 資機材置き場のスペースは資機材を安定した状態で置くことのできる十分なスペースを準備します。
- ※ 資機材置き場と床等に資機材を準備する場所の距離は、4m以内とします。

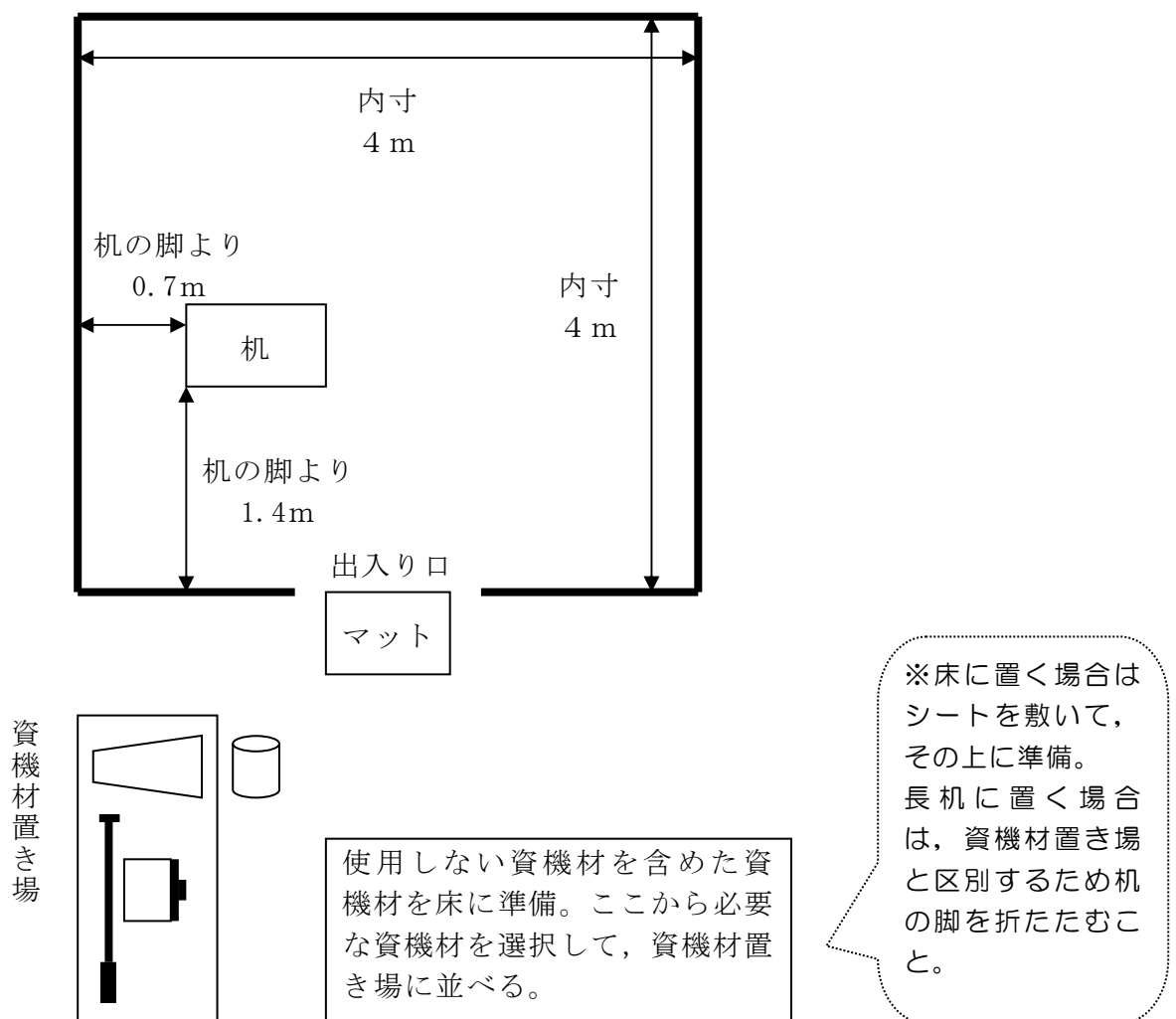
検定会場で必要な資機材等（自在ぼうき）

品名	寸法又は規格等	数量
幅木	検定用幅木又は緑テープ	1
マット	エコレインマット（グリーン）	1
おがくず（ゴミ）	30 c c ※水で湿らせて試技コートにまく	1
机（資機材置き場）	長机	1
作業表示板	検定用	1
自在ぼうき	45 c m	1
文化ちりとり	標準ハンドル	1
座敷ぼうき（選択肢用）	長柄	1
シダぼうき（選択肢用）	長柄	1
ホームダスト（選択肢用）		1
鉄道ちりとり（選択肢用）		1

● モップ

- 1 テープ又は幅木により区画されたおおよそ4 m×4 mの範囲を試技コートとします。
- 2 テープ又は幅木の上には壁があるものとして作業を行います。
- 3 試技コートにある机は移動させないこととします。
- 4 資機材の選択について
房糸は、3種類（横木が白色、赤色、青色）の中から、横木が白色を選択して使用する
こととします。

配置図



- ※ 資機材置き場等の位置及び内寸については、会場の都合で変更することがあります。
- ※ 資機材置き場のスペースは資機材を安定した状態で置くことのできる十分なスペースを準備します。
- ※ 資機材置き場と床等に資機材を準備する場所の距離は、4 m以内とします。

検定会場で必要な資機材等（モップ）

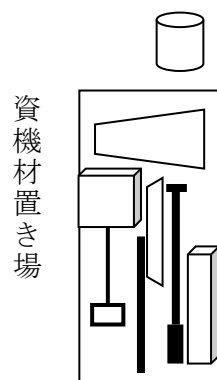
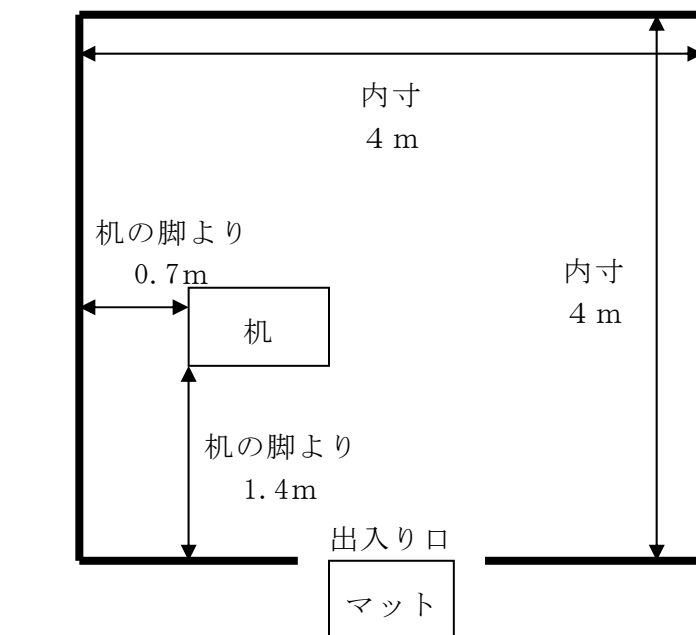
品名	寸法又は規格等	数量
幅木	検定用幅木又は緑テープ	1
机	おおよそ65 c m×45 c m	1
マット	エコレインマット（グリーン）	1
机（資機材置き場）	長机	1
バケツ	口が大きめのもの ※3分の1程度水を入れて、資機材置き場付近の床に準備する	1
作業表示板	検定用	1
柄	伸縮	1
房糸（白）	幅220m m程度 ※水で湿らせておく	1
房糸（青）（選択肢用）	幅220m m程度 ※水で湿らせておく	1
房糸（赤）（選択肢用）	幅220m m程度 ※水で湿らせておく	1

● **ダスタークロス**

- 1 テープ又は幅木により区画されたおおよそ4 m×4 mの範囲を試技コートとします。
- 2 テープ又は幅木の上には壁があるものとして作業を行います。
- 3 試技コートにある机は移動させないこととします。
- 4 資機材の選択について

クロスは、3種類（ヘッドの大きさに合うもの（690mm程度）、短いもの（490mm程度）、長いもの（990mm程度））の中から、ヘッドの大きさに合うものを選択して使用することとします。

配置図



使用しない資機材を含めた資機材を床に準備。ここから必要な資機材を選択して、資機材置き場に並べる。

※床に置く場合はシートを敷いて、その上に準備。長机に置く場合は、資機材置き場と区別するため机の脚を折たたむこと。

- ※ 資機材置き場等の位置及び内寸については、会場の都合で変更することがあります。
- ※ 資機材置き場のスペースは資機材を安定した状態で置くことのできる十分なスペースを準備します。
- ※ 資機材置き場と床等に資機材を準備する場所の距離は、4 m以内とします。

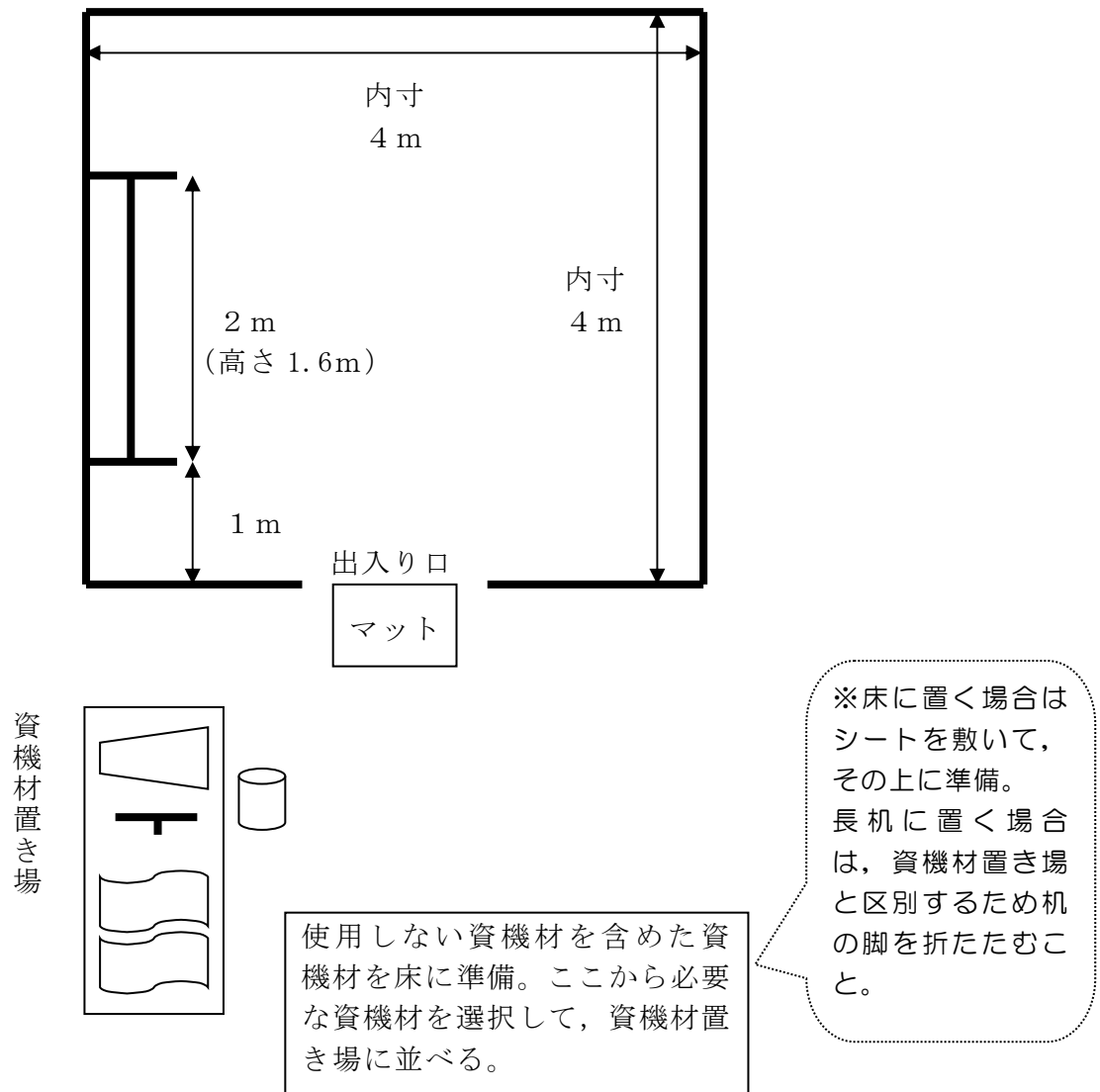
検定会場で必要な資機材等（ダスタークロス）

品名	寸法又は規格等	数量
幅木	検定用幅木又は緑テープ	1
机	おおよそ65 c m×45 c m	1
マット	エコレインマット（グリーン）	1
おがくず（ゴミ）	50 c c ※水で湿らせて試技コートにまく	1
机（資機材置き場）	長机	1
ごみ箱	※資機材置き場付近の床に準備する	1
作業表示板	検定用	1
柄	収縮	1
ダスタークロスヘッド	63 c m（ヘッドピンチを開くと止まるもの）	1
クロス	69 c m程度	1
自在ぼうき	33 c m	1
文化ちりとり	標準ハンドル	1
クロス（選択肢用）	49 c m程度	1
クロス（選択肢用）	99 c m程度	1

● スクイージー

- 1 検定は専用ガラス台で行います。ガラスは片面 2 m^2 ($1\text{ m} \times 2\text{ m}$) の面積で、サッシ枠や補強棒で固定されています。専用ガラス台の高さは、おおよそ 160 cm です。
- 2 テープ又は幅木の上には壁があるものとして作業を行います。
- 3 作業には、窓用スクイージーを使用し、縦切り等の技法で作業を行います。
- 4 資機材の選択について
タオルは、4種類（白色、黄色、青色、赤色）の中から、白色と黄色を選択して使用することとします。
スクイージーは、2種類（窓用スクイージー、ドライワイパー）の中から、窓用スクイージーを選択して使用することとします。

配置図



- ※ 資機材置き場等の位置及び内寸については、会場の都合で変更することがあります。
- ※ 資機材置き場のスペースは資機材を安定した状態で置くことのできる十分なスペースを準備します。
- ※ 資機材置き場と床等に資機材を準備する場所の距離は、4 m以内とします。

検定会場で必要な資機材等（スクイージー）

品名	寸法又は規格等	数量
幅木	検定用幅木又は緑テープ	1
ガラス	検定用ガラス（縦1 m×横2 m）台	1
マット	エコレインマット（グリーン）	1
水性汚れ	水性ペン	1
机（資機材置き場）	長机	1
作業表示板	検定用	1
システムバケツ	口が大きいもの ※3分の1程度水を入れて、資機材置き場付近の床に準備する	1
システムバケツ収納ケース		1
スクイージー	幅35 c m	1
乾拭き用タオル	白色タオル	1
濡れ拭き用タオル	黄色タオル	1
タオル（選択肢用）	赤色タオル	1
タオル（選択肢用）	青色タオル	1
ドライワイパー（選択肢用）	幅40 c m程度，長柄	1